

商品名 ドンペリドン錠10mg「杏林」 医薬品基本情報

薬効	2399 他に分類されない消化器官用薬	一般名	ドンペリドン10mg錠
英名	Domperidone KYORIN	剤型	錠
薬価	6.10	規格	10mg 1錠
メーカー	キョーリンリメディオ	毒劇区分	

ドンペリドン錠10mg「杏林」の効能・効果

(胃下垂症、胃切除後症候群、慢性胃炎、抗悪性腫瘍剤投与時、レボドパ製剤投与時)の(悪心、嘔吐、上腹部不快感、食欲不振、腹痛、腹部膨満、胸やけ、あい気、消化器症状)、(小児周期性嘔吐症、小児上気道感染症、抗悪性腫瘍剤投与時)の(悪心、嘔吐、上腹部不快感、食欲不振、腹痛、腹部膨満、胸やけ、あい気、消化器症状)

ドンペリドン錠10mg「杏林」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、消化管出血、消化管穿孔、機械的イレウス、プロラクチノーマ、プロラクチン分泌性下垂体腫瘍	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 心疾患、腎機能障害、肝機能障害、小児等の脱水状態、小児等の発熱時、高用量を投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ドンペリドン錠10mg「杏林」の副作用等

1. ショック、アナフィラキシー、発疹、発赤、呼吸困難、顔面浮腫、口唇浮腫、意識障害、痙攣、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、肝機能障害、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 後屈頸、眼球側方発作、上肢伸展、振戦、筋硬直、錐体外路症状	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
3. 腹部不快感、腹鳴、腸痙攣、QT延長	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 下痢	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満

5. 肝機能異常、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、ビリルビン上昇、Al-P上昇、LDH上昇、女性化乳房、プロラクチン上昇、乳汁分泌、乳房膨満感、月経異常、便秘、腹痛、腹部圧迫感、口渇、胸やけ、悪心、嘔吐、腹部膨満感、心悸亢進、じん麻疹、発疹、皮膚そう痒、口内のあれ、発汗、眠気、動揺感、めまい、ふらつき

記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満

6. 間脳の内分泌機能調節異常、錐体外路症状、QT延長、骨格異常、内臓異常、催奇形作用、意識障害、痙攣、重篤な心室性不整脈、突然死

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ドンペリドン錠10mg「杏林」の相互作用

1. 薬剤名等：フェノチアジン系精神神経用剤

発現事象	錐体外路症状、内分泌機能調節異常
理由・原因	本剤は血液－脳関門を通過しにくいが強い抗ドパミン作用を有する、フェノチアジン系精神神経用剤、ブチロフェノン系製剤は中枢性の抗ドパミン作用を有し、ラウオルフィアルカロイド製剤は中枢でカテコールアミンを枯渇させる

投与条件	-
指示	注意

2. 薬剤名等：ブチロフェノン系製剤

発現事象	錐体外路症状、内分泌機能調節異常
理由・原因	本剤は血液－脳関門を通過しにくいが強い抗ドパミン作用を有する、フェノチアジン系精神神経用剤、ブチロフェノン系製剤は中枢性の抗ドパミン作用を有し、ラウオルフィアルカロイド製剤は中枢でカテコールアミンを枯渇させる

投与条件	-
指示	注意

3. 薬剤名等：ラウオルフィアルカロイド製剤

発現事象	錐体外路症状、内分泌機能調節異常
理由・原因	本剤は血液－脳関門を通過しにくいが強い抗ドパミン作用を有する、フェノチアジン系精神神経用剤、ブチロフェノン系製剤は中枢性の抗ドパミン作用を有し、ラウオルフィアルカロイド製剤は中枢でカテコールアミンを枯渇させる

投与条件	-
指示	注意

4. 薬剤名等：ジギタリス製剤

発現事象	ジギタリス製剤飽和時の指標となる悪心・嘔吐・食欲不振症状を不顕化
理由・原因	本剤は制吐作用を有する

投与条件	-
指示	注意

5. 薬剤名等：抗コリン剤

発現事象	本剤の胃排出作用が減弱
理由・原因	抗コリン剤の消化管運動抑制作用が本剤の消化管運動亢進作用と拮抗

投与条件	-
指示	注意

6. 薬剤名等：制酸剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	胃内pHの上昇により、本剤の消化管吸収が阻害	指示	注意

7. 薬剤名等：H2受容体拮抗剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	胃内pHの上昇により、本剤の消化管吸収が阻害	指示	注意

8. 薬剤名等：プロトンポンプ阻害剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	胃内pHの上昇により、本剤の消化管吸収が阻害	指示	注意

9. 薬剤名等：CYP3A4阻害剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	強力又は中程度のCYP3A4阻害作用により本剤の代謝が阻害	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』